

【各団体で工夫していること、上手くいっている点】

《自治会・子ども会など》

1. 回収方法

- ・ 持込困難者に対し直接引取りなど、個別に対応している。（回覧板等で周知）
- ・ 高齢で回収場所への持込が困難な方が多いため、回収日に玄関先に出してもらい、自治会役員が自動車で回収している。
- ・ 資源物を常時持ち込める常設コンテナや回収倉庫の設置により回収量が増加。
（回収ルール周知のため掲示板設置）
- ・ 自治会館内にアルミ缶用回収袋と段ボール、新聞雑紙、その他雑紙の種別回収用ボックスを設置し、町民からの持込回収に工夫した。

2. 日程調整

- ・ 小中学校など他団体で行っている資源回収日と重複しないよう日程調整している。
- ・ 回収と他のイベントを同日に行い、負担を減らしている。

3. 周知

- ・ アプリ型回覧板に変更したことにより、資源回収日直前での追加案内や当日朝にも回収日のアナウンスが可能となり回収量が増加した。
- ・ 各会議、回覧板、ホームページ等により幅広く周知。
- ・ 年間回収計画表を作成し、各班を通じて自治会員に連絡・周知している。
- ・ 回収日に、回収場所に看板を設置。
- ・ 回覧板に回収業者の車の写真を載せ（資源物の持ち去りではないことを）周知させた。
- ・ 分別の不徹底などの不都合事例を地域の広報誌（月報）で写真を添付して回覧している。
- ・ 分別方法について回覧や役員会での説明など継続的に周知。収集日の立会いを実施。
- ・ 協力金収入があることを回覧板等で周知。

4. その他

- ・ 親子で参加し、リサイクル意識を高めている。また、自宅前回収を行うことにより地域の方と話す機会が増え、直接次回のお知らせをするなど声掛けができている。
- ・ 協力金をごみ集積所の修繕費や会議出席者への記念品配布に使用し、住民に還元している。
- ・ 回収物の重さによって、搬入用の段ボール箱やトレットペーパーに交換してお得感を持たせ、次の搬入につなげている。

《学校・幼稚園など》

1. 回収方法

- ・ 小学校と合同で行うよう依頼。
- ・ 園に常設している回収庫に地域の方も自由に資源物を持ち込めるようにしている。資源回収についての手紙を地域回覧しているため、地域の方が協力的である。
- ・ 学校で常時回収できるようにコンテナを設置している。
- ・ 常時受入れとし保護者が各自都合に合わせ持参が可能。
- ・ 年に数回、強化週間を設定。

2. 日程調整

- ・ 参観会開催日にあわせて実施。
- ・ 雨天時は延期せず翌日学校に持込。

3. 周知

- ・ 年4回の収集期間を設け、保護者・生徒への周知を連絡網を利用して行っている。
- ・ 在園児の保護者のみでなく、卒園児家庭にも呼びかけ、常時持ってきてもらっている。

4. その他

- ・ PTA 役員、回収業者との打合せを丁寧に行うことで回収に関わるトラブルを減らしている。
- ・ 回収物の業者引渡しは職員が実施することで、保護者の負担軽減。